



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 セブンシーズホールディングス株式会社
 コード番号 3750 URL <http://www.sshd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 藤堂 裕隆
 (氏名) 関 裕司

TEL 03-5771-8531

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,060	△26.5	△231	—	△250	—	△11	—
24年3月期第2四半期	1,443	49.5	2	—	△71	—	△114	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △30百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △137百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△0.17	—
24年3月期第2四半期	△2.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	2,702	1,639	60.7	19.83
24年3月期	2,908	1,255	43.2	26.08

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,639百万円 24年3月期 1,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	△14.0	0	—	30	—	250	—	3.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	97,498,824 株	24年3月期	62,994,620 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	14,846,455 株	24年3月期	14,845,615 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	68,511,716 株	24年3月期2Q	48,149,125 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）のわが国経済は、復興関連需要等による緩やかな回復の兆しがある一方、欧州の金融・財政不安からの世界的な経済危機の懸念が払拭されず、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、各事業において事業基盤の整備・拡充、ならびに各事業領域における競争力強化・収益性向上に鋭意取り組み、より付加価値の高いコンテンツ、サービス、ソリューションの創出とお客様へのご提供を積極的に図ってまいりました。この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における連結売上高は1,060百万円（前年同四半期比26.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[メディア&マーケティング事業]

既存雑誌の委託販売売上高は、おおむね計画通り推移し、広告収入は徐々に回復する傾向となったものの、過去に委託した出版物の返品が増加傾向となりました。また、国内における市場調査業務の営業を強化した結果、売上高は439百万円（前年同四半期比40.2%減）となりました。

[カードソリューション事業]

決済端末サービスは順調に推移したものの、端末切替契約による売上が前期末までにほぼ完了した結果、売上高は368百万円（前年同四半期比16.5%減）となりました。

[データセンター事業]

米国ハワイ州にて事業展開しているデータセンターにつきましては堅調に推移した結果、売上高は250百万円（前年同四半期比6.3%減）となりました。なお、当事業を展開しておりますDR Fortress, LLCの当社所有ユニットを平成24年9月24日付で譲渡し、連結子会社より除外いたしました。これによりデータセンター事業から撤退いたしました。

[サービサー事業]

平成24年5月に「債権管理回収業に関する特別措置法」第3条に基づく法務大臣の許可を取得して事業展開を開始し、売上高は2百万円となりました。

損益面につきましては、営業損失231百万円（前年同四半期は営業利益2百万円）、経常損失250百万円（前年同四半期は経常損失71百万円）、期中に連結子会社DR Fortress, LLCを譲渡したことに伴う特別利益197百万円を計上した結果、四半期純損失は11百万円（前年同四半期は四半期純損失114百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,702百万円（前連結会計年度末比7.1%減、205百万円減）となりました。これは主に固定資産の減少によるものです。

負債は、1,063百万円（前連結会計年度末比35.7%減、589百万円減）となりました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

純資産は、1,639百万円（前連結会計年度末比30.5%増、383百万円増）となりました。これは主に株主割当増資による資本金及び資本剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年9月24日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社が保有するDR Fortress, LLCの全てのユニットを売却したため、同社は連結子会社から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法にもとづく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、平成20年3月期から平成24年3月期まで継続して営業損失を計上しており、当第2四半期連結累計期間においても営業損失231百万円を計上していることから、継続企業の前提に関する重要事象が存在しております。

①メディア&マーケティング事業

メディア（出版）事業においては、自社媒体を出版する事業モデルから、出版口座貸し事業、雑誌販売営業、広告代理店業務といった出版に関するインフラ提供へと収益の軸足をシフトしており、返品リスクを避け、安定的な収益基盤を有する事業モデルへと転換をしております。

②カードソリューション事業

当事業においては、平成23年3月期第1四半期連結累計期間より黒字化を実現しており、今後においても更なる収益向上に向け、決済メニューの多様化及び新規顧客の獲得を行ってまいります。

③サービサー事業

当事業においては、第1四半期連結会計期間より事業開始しておりますが、大規模なシステム及び人員体制が要求される小口債権は取扱せず、不動産担保付債権を主とした債権回収の受託業務及び債権の買取り業務に注力することにより、初期投資を抑えた事業展開を行ってまいります。

④経費削減

経費全般について全面的な見直しを行い、固定費の圧縮を実施しております。

各事業における上記の施策を講じることにより、収益性の改善を図っております。また、当社は平成24年6月15日を払込期日とした株主割当増資を実施していることに加え、本報告書提出日現在において、データセンター事業を営むDR Fortress, LLCのユニット売却及び貸付債権の期限前一括返済を受けたことに伴い、キャッシュポジションが増加しております。

また、事業効率の向上及び固定費削減、法務関連費用、人的資源の再編等も含めたコスト削減も実施しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しておりますので、四半期連結財務諸表において、継続企業の前提に関する注記は記載しておりません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	211,693	266,005
受取手形及び売掛金	1,028,990	654,332
たな卸資産	100,098	87,834
未収入金	170,996	554,307
返品債権特別勘定引当金	△63,944	△45,534
短期貸付金	—	539,320
買取債権	—	178,298
その他	105,525	66,009
貸倒引当金	△31,722	△25,639
流動資産合計	1,521,638	2,274,931
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	312,787	197,145
その他（純額）	516,549	30,512
有形固定資産合計	829,337	227,657
無形固定資産		
のれん	432,644	57,099
その他	9,390	7,900
無形固定資産合計	442,035	64,999
投資その他の資産		
破産更生債権等	382,775	352,947
その他	156,486	164,360
貸倒引当金	△446,546	△416,042
投資その他の資産合計	92,715	101,265
固定資産合計	1,364,088	393,922
繰延資産	22,450	33,643
資産合計	2,908,177	2,702,497

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	396,835	328,927
短期借入金	108,670	118,388
未払費用	352,875	283,141
返品調整引当金	20,800	—
その他	262,538	273,919
流動負債合計	1,141,719	1,004,377
固定負債		
長期借入金	481,098	32,311
退職給付引当金	9,635	10,659
その他	19,927	15,819
固定負債合計	510,660	58,789
負債合計	1,652,380	1,063,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461,832	3,668,857
資本剰余金	1,058,924	1,265,950
利益剰余金	△429,582	△441,134
自己株式	△2,868,448	△2,868,460
株主資本合計	1,222,726	1,625,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,547	14,118
為替換算調整勘定	48,618	—
その他の包括利益累計額合計	33,070	14,118
純資産合計	1,255,797	1,639,330
負債純資産合計	2,908,177	2,702,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,443,754	1,060,879
売上原価	938,553	829,891
売上総利益	505,200	230,987
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	162,332	148,450
その他	340,218	313,706
販売費及び一般管理費合計	502,551	462,156
営業利益又は営業損失(△)	2,649	△231,169
営業外収益		
受取利息	1,935	250
返品債権特別勘定引当金戻入額	—	18,410
貸倒引当金戻入額	7,796	34,494
その他	11,484	6,423
営業外収益合計	21,215	59,579
営業外費用		
支払利息	29,546	24,400
為替差損	53,379	35,549
その他	12,364	19,045
営業外費用合計	95,290	78,995
経常損失(△)	△71,425	△250,585
特別利益		
新株予約権戻入益	30,787	—
関係会社株式売却益	—	197,245
受取設備負担金	61,931	35,355
その他	—	21,886
特別利益合計	92,718	254,486
特別損失		
固定資産売却損	7,427	—
関係会社株式売却損	62,623	—
減損損失	63,867	—
和解金	—	10,852
その他	—	2,875
特別損失合計	133,919	13,727
税金等調整前四半期純損失(△)	△112,626	△9,826
法人税、住民税及び事業税	1,930	1,725
法人税等合計	1,930	1,725
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△114,557	△11,551
四半期純損失(△)	△114,557	△11,551

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△114,557	△11,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,398	29,666
為替換算調整勘定	1,477	△48,618
その他の包括利益合計	△22,921	△18,952
四半期包括利益	△137,478	△30,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△137,478	△30,504

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△112,626	△9,826
減価償却費	64,387	69,715
減損損失	63,867	—
のれん償却額	53,324	49,397
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22,658	△35,504
返品債権特別勘定引当金の増減額(△は減少)	15,961	△18,410
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△7,000	△20,800
受取利息及び受取配当金	△1,936	△253
持分法による投資損益(△は益)	7,260	—
支払利息	29,546	24,400
株式交付費	—	12,416
為替差損益(△は益)	53,224	35,563
投資有価証券売却益	—	△18,230
関係会社株式売却損益(△は益)	62,623	△197,245
新株予約権戻入益	△30,787	—
売上債権の増減額(△は増加)	65,328	103,681
たな卸資産の増減額(△は増加)	△30,513	12,264
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,208	△67,907
買取債権の購入による支出	—	△180,518
買取債権の回収による収入	—	2,220
その他	△185,918	52,652
小計	14,875	△186,385
利息及び配当金の受取額	2,597	253
賃貸料の受取額	3,708	—
利息の支払額	△19,377	△24,146
賃貸費用の支払額	△1,255	—
法人税等の支払額	△3,823	△1,937
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,276	△212,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△191,544	△20,521
関係会社株式の売却による支出	△1,050	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△30,948
貸付金の回収による収入	15,438	32,392
設備負担金による収入	61,931	35,355
賃貸資産の売却による収入	134,850	—
その他	△8,806	4,167
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,818	20,444

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△94,378	△100,798
長期借入れによる収入	21,715	—
長期借入金の返済による支出	△161,619	△46,796
リース債務の返済による支出	—	△4,120
株式の発行による収入	—	401,633
少数株主への配当金の支払額	△6,905	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△241,188	249,917
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,504	△4,083
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△235,150	54,062
現金及び現金同等物の期首残高	630,207	211,293
現金及び現金同等物の四半期末残高	395,057	265,355

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月15日を払込期日とする株主割当増資により、資本金及び資本準備金がそれぞれ207,025千円増加しており、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,668百万円、資本準備金が1,265百万円となっております。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	メディア& マーケティング 事業	カードソリュ ーション事業	データセン ター事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	734,697	441,699	267,357	1,443,754	—	1,443,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	734,697	441,699	267,357	1,443,754	—	1,443,754
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△81,658	133,894	57,078	109,314	△106,665	2,649

(注) 1 セグメント利益の調整額△106,665千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産である売却予定の賃貸資産について減損損失63,867千円を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディア& マーケティング 事業	カードソリュ ーション事業	データセン ター事業	サービス 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	439,432	368,631	250,593	2,220	1,060,879	—	1,060,879
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	439,432	368,631	250,593	2,220	1,060,879	—	1,060,879
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△185,315	47,600	20,189	△40,392	△157,918	△73,250	△231,169

(注) 1 セグメント利益の調整額△73,250千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

DR Fortress, LLC (米国) 全株式を売却し連結範囲から除外したことに伴い、「データセンター事業」セグメントにおいて、のれんが減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第2四半期連結累計期間において、331,571千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末より、セブンシーズ債権回収株式会社を連結の範囲に含めたことにより「サービス事業」を報告セグメントに追加しております。

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微であります。